

国語科学習指導案

日 時 令和3年12月14日2校時
場 所 4階1年4組教室
生 徒 札幌市立北都中学校1年4組33名
指導者 田中 大地

1 教材名 「不便」の価値を見つめ直す（光村図書、国語1）

2 教材についてと生徒の実態

(1) 教材について

光村図書の教科書では、教材文を読み、筆者の考えを要約し、筆者の考えに対する自分の意見をまとめる活動が設定されている。「要約」を中心とした授業展開が想定されている。

本単元では、教材文を要約し、意見を文章にまとめたうえで、実際にその学習を活用することができるか確かめるところまでを試みる。生徒自身にとっては、教科書に掲載されている作品の内容を学習した印象が強く、具体的な指導事項の学習内容を振り返る機会も少ない。そこで、小学校6年生で学習した「笑うから楽しい」（光村図書、国語六）を用いて、本単元の学習を実際に生かす機会とする。生徒は一度読んだことがありからこそ、内容に重きを置くのではなく、説明的な文章を読むときのポイントをおさえて読む余裕が生まれると考える。

(2) 生徒の実態

1年4組の生徒は、授業に前向きに取り組むことができる。発言には個人で差はあるが、ノートやプリントに書く活動、グループで話し合う活動など、学習にしっかり参加することができている。学習を生かすことで他の文章にもその学習が生きることに気付かせたい。

(3) 指導の方針

今回の授業では、教材文を読み、筆者の考えを要約し、筆者の考えに対する自分の意見をまとめた後、その成果を表現するような機会を設定したい。具体的には、小学校の教材を用いて、実際に学習したことを生かす。学習したことが教科書に掲載された文章だけに活用できるのではなく、他の文章でも活用できることを実感する場としたい。

◇言語活動 筆者の主張を要約し、根拠を明確にして自分の考えを文章にまとめる。

(関連：[思考力、判断力、表現力等]C(2)ア、B(2)ア)

3 学習の目標と評価規準

<指導事項>

- ・知識及び技能(2)ア
原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。
- ・思考力、判断力、表現力等 C 読むことウ
目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈すること。
- ・思考力、判断力、表現力等 C 読むことオ
文章を読んで理解したことに基ついて、自分の考えを確かなものにする。
- ・思考力、判断力、表現力等 B 書くことウ
根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。

<目標>

- (1) 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。 [知識及び技能](2)ア
- (2) 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈することができる。 [思考力、判断力、表現力等]C(1)ウ
- (3) 文章を読んで理解したことに基ついて、自分の考えを確かなものにする。 [思考力、判断力、表現力等]C(1)オ
- (4) 根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 [思考力、判断力、表現力等]B(1)ウ
- (5) 言葉がもつ価値に気付くともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」

<評価規準>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	①「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈している。(C(1)ウ) ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基ついて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ) ③「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	①進んで文章を読み、学習課題に沿って文章を要約し、意見をまとめようとしている。

4 指導計画（4時間扱い）

時間	学習内容・活動等	○留意点・評価等
1	<p>【全体の学習課題】 筆者の主張を要約し、根拠を明確にして自分の考えを文章にまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題を確認し、学習計画を立て、学習に見通しをもつ。 <p>全文を読んで文章の大まかな内容を捉えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全文を読む。 ・文章構成を確認する。 <p>文章の大まかな内容を捉えることができた。</p>	<p>○これまでの説明的な文章で学習したことを思い出す。</p> <p>○教師が例を示す。</p> <p>[知識・技能]① <u>内容把握</u> ここでは、本文の内容を把握できているか確認する。</p>
2	<p>文章の内容を整理し、要約しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「不利益」とは何か考える。 ・段落の中心となる部分を探す。 ・必要な情報を選んで要約する。 <p>中心となる文を探し、文章の内容を整理し、必要な情報を結び付けて要約することができた。</p>	<p>○どんな学習をしていたか振り返るようなアドバイスをする。</p> <p>[思考・判断・表現]① <u>要約</u> ここでは、文章の中心的部分を探し、必要な情報を選んで要約できているか確認する。</p>
3	<p>筆者の主張に対して、自分の意見をまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張に対して、根拠を明確にして自分の意見をまとめる。(納得できたか、納得できなかったか) ・他の人の文章を読み合い、意見について交流する。 <p>クラスの人に伝えるように、適切な語句や文章の構成を工夫して整理してまとめることができた。</p>	<p>○文章を読んだことが生かされているか、相手に伝わるようにまとめられているかをアドバイスする。</p> <p>[思考・判断・表現]②③ <u>意見文</u> ここでは、文章を読んだことを基にまとめているか確認する。 ここでは、自分の意見が伝わるようにまとめているか確認する。</p>
4 (本時)	<p>他の文章に今回の学習を生かしてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「笑うから楽しい」を読む。 ・要約する。 ・意見をまとめる。(納得できたか、納得できなかったか) <p>今回の学習した、要約や意見をまとめることを、他の文章に対しても生かすことができた。</p>	<p>○これまでの学習を振り返る。</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度]① <u>意見文、振り返り</u> ここでは、進んで文章を読み、これまでの学習を活かしているか確認する。</p>

5 本時の学習

(1) 本時のねらい

前時までの学習を生かして、文章を要約したり、自分の考えをまとめたりする。

(2) 本時の展開 (本時4/4)

累計時間	○生徒の学習活動	・教師のかかわり
導入 3分	1 前時を振り返る。 *要約したり意見を書いたりするために文章を読んだ。 *要約する際には、各段落の中心となる部分を探した。	・これまでの学習を思い出し、国語の学習が整理されるようにする。
展開 4分	2 本時の学習課題を確認する。(今日の学習内容) 【学習課題】 他の文章に今回の学習を生かしてみよう。	
15分	3 「笑うから楽しい」を読む。 ・要約、自分の考えをまとめることを踏まえて学習に見通しをもつ。 ①文章を読む。 ②各段落中心となる部分を探す。 ③具体例として挙げるものを決める。 4 文章を要約し、自分の考えを書く。 5 交流する。	・前回までの学習を思い出しながら、どんな学習を生かすことができるかを考える。 ・生徒の様子を見ながら、その都度よい考えを紹介する。 ・近くの人で交流する。
終末 45分	6 学習を振り返る。 【課題解決の姿】 新聞記事と国語の学習の結びつきを考えることができた。	[主体的に学習に取り組む態度]① <u>意見文、振り返り</u> ・ここでは、進んで文章を読み、これまでの学習を活かしているか確認する。

(3) 本時の評価基準

進んで文章を読み、前時までの学習を要約や自分の考えをまとめることに活かすことができているか。

[主体的に学習に取り組む態度] (意見文、振り返り)